

単元名 (教材)	沖縄の水問題は怎么样了の?多様な情報から課題を見つけて、「水の作文」で全国へ発信! 6 情報を関連付ける(以下の複合教材をひとまとまりの単元とした) 「マンガ 情報の扱い方」「論説 100年後の水を守る」「論説 飲み水は不足しているか」 「図表 水問題に関する資料」「書く 複数の情報を関連付けて根拠を明らかに示す」				
単元目標	(1)意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 [知識及び技能](2)ア (2)情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができる。[知識及び技能](2)イ (3)目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。[思考力,判断力,表現力等]B(1)ア (4)伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。[思考力,判断力,表現力等]B(1)イ (5)言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝えあおうとする。[学に向かう力,人間性等]				
単元の 評価規準	【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】
	①意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解し使っている。 〔(2)ア〕 ②情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使っている。 〔(2)イ〕		①「書くこと」において、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。[B(1)ア] ②「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。[B(1)イ]		①これまでの学習を生かして情報を整理し、自分の伝えたいことを明確にして、粘り強く文章を書こうとしている。 ②学習の見通しをもって、内容を吟味し、文章の構成や展開を工夫しようとしている。
単元計画	次	時	学習内容		評価規準・評価方法など
	1	1	「水問題」の原因を考えよう ・学習の見通しを持つ。 ・具体と抽象の関係を理解しよう。 ・因果関係を整理しよう。		【知識・技能】① リフレクションの記述 具体と抽象の概念が理解できている記述があるか。
		2			
	2	3	資料 A と B を読み比べて、 自分の考えを深めよう ・資料 A「100年後の水を守る」を読み、筆者の考える水不足の原因と対応策を捉える。 ・資料 B「飲み水は不足しているか」を読み、筆者の考える水不足の原因を捉え、その対応策を解釈する。 ・資料 C「水問題に関する資料」を読み、資料 A と B とを関連付けて考える。		ここでは、C(1)ウ・オに基づいて学習状況を捉え、指導を行うが、単元の目標としていないことから、本単元の評価には含めない。
		4			
		5			

	3	6	多様な資料を読み取って、 「水の作文」で自分の考えを 発信しよう！ ・グラフや図の読み取り方を考える。 ・資料 C の資料や沖縄の水事情に関する様々な資料を整理して、自分の考えを明確にして、わかりやすく文章にまとめる。 ・構想シートにまとめ、Google ドキュメントに作文を打ち込み、提出。 〔図書館との連携〕 図書館司書と連携し、単元の最初に「水」に関する資料を集めてもらい、ブックトラックにおいて、毎時間、授業内で活用できる状況。 （例） ・バーチャルウォーターに関する本 ・世界の水問題に関する本 ・沖縄の PFAS や PFOS に関連する新聞記事 ・水問題に関する大学論文 ・多良間の淡水レンズに関する論文 ・単元を振り返る。	〔知識・技能〕 構想シートの記述 ①様々な資料の事実（根拠）から抽象化し、理由付けしている。 ②様々な資料から情報を整理する際に図式化したり、記号などを使って情報をまとめている。
		7		〔思考・判断・表現〕 構想シート・ドキュメント ①多様な方法で集めた資料を整理する中で、自分の伝えたいことを明確にしている記述がある。 ②伝えたいことがわかりやすく伝わるように、文章の構成や展開について内容を吟味しながら書いている。
		8		
		9		〔主体的に学習に取り組む態度〕 ワークシート、観察 ①複数の資料から自分の意見を支える根拠や理由を粘り強くまとめ、文章にいかしている。 ②学習の見通しをもち、自分に必要な情報を多様な方法で集めている。